

皇位継承で

自民総裁直属の「懇談会」設置へ

旧宮家男系の皇族養子案を軸に

自民党は近々、総裁直属の機関として「安定的な皇位継承の確保に関する懇談会」を発足させます。会長に麻生太郎副総裁、会長代理に茂木敏充幹事長、事務総長に萩生田光一政務会長が就く予定です。

森山裕総務会長は記者会見で、早期の議論開始が必要とした上で、「いつまでというより、熟議をして国会としてどうまとめたいかが大事だ」と述べ、議論の促進と併せて与野党合意も必要との考えを示しました。

首相自身は令和3年9月の総裁選で「旧宮家の男系男子が皇籍に復帰する案も含め、女系天皇以外の方法を検討すべきだ」と述べ、その立ち位置を明確にしています。2年前に政府の有識者会

国民投票に向け全国縦断の青年キャラバン

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(共同代表・櫻井よしこ氏、田久保忠衛氏)による全国縦断の青年キャラバンが行われています。

20歳代と30歳代を中心とした有志約30人が4隊に分かれ、前半の11月初めから中旬にかけては、九州、四国、中国、東北21県の県庁所在地を中心に回りました。

街頭では「いのちと暮らしを守る危機に強い日本へ」を合い言葉にリフレットを配布しながら、改憲を訴え、地元での各議員事務所や県議会の各会派などを訪ねて連帯を確認しました。

今月17日から19日まで北海道と沖縄県で集中的にキャラバンを実施。後半の27日から12月11日まで、関東、東海、近畿、北陸の全都府県を回ります。地元の方々の参加を募り、国民投票運

改憲忌避の立憲に構う暇はない!

維新の馬場代表は今月9日、憲法改正について、「(今国会で具体的な作業に入らなければ)やるやる詐欺だ」などと発言して自民党に揺さぶりをかけました。

ただ、岸田文雄首相自身は改憲に向けて積極的な発言を続けています。11月2日の記者会見では「国会において発議に向けて手続きをするためにも積極的な議論が行われることは期待したい」と

と「発議」に言及。一部報道では衆院憲法審査会の自民幹部に「(与野党一致の)護送船団方式では全然前に進めない」と発言したと言われます。

マスコミは「保守層の離反を食い止めるため」などと揶揄していますが、それはそれで一理あるとしても、いつまでたってもやる気を見せない立憲に構っている時間などないのは事実です。

何としても今国会中に



街宣活動を終えた有志の皆さん (11月3日 熊本市)

緊急事態条項新設や第9条への自衛隊明記について自公維新による改正条文案の摺り合わせを進めるべきです。

動に向けての研修会も予定しています。

今月27日からのキャラバンの予定地は以下のとおりです。

- 11月27日(東京、長野) 28日(群馬、三重)
- 29日(埼玉、静岡、滋賀)
- 30日(埼玉、岐阜、京都、石川)
- 12月1日(岐阜、京都、福井) 2日(神奈川、愛知、大阪、富山) 3日(山梨、愛知、兵庫、新潟)
- 4日(栃木、奈良、新潟)
- 5日(茨城、和歌山)
- 6日(福島) 11日(千葉)

キャラバン問合せ
03・6261・7282

【改憲チラシNo.10】

国民投票迫る今、憲法改正にチャレンジ!

いのちと暮らしを守る危機に強い日本へ

今の時代に必要なのは「新たに追加」して、いのちと暮らしを守る「より良い憲法」に変えよう!

美しい日本の憲法をつくる国民の会

歴代最多開催の憲法審査会!

来年通常国会での国会発議実現へ

ネットで改憲チャレンジ

憲法改正の最新情報を発信中!

憲法改正の最新情報を発信中!